

社 会
(地理的分野)

社会の目標等について
<p>【教科の目標】</p> <p>広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[地理的分野]</p> <p>(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。</p> <p>(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわり度ととらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。</p> <p>(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。</p> <p>(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p>

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
 - 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
 - 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。
- 標準授業時数 120単位時間

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・725	新編 新しい社会 地理
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の形や大きさ、国境の決まり方から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の住居の特色に着目して人々の生活の様子を考察したり、人々のくらしの変化や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地形や気候、人口分布等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「急速に進む成長と変化」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「世界の様々な地域の調査」において、韓国の調査例を示し、食文化や工業の発展、人口問題等、適切な主題を設けて追究したり、調査結果の考察やまとめを発表する学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の自然災害の状況や防災、減災等の取組を取り上げたり、世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状や産業の特色を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動 ・「身近な地域の調査」において、静岡県静岡市での調査例を示し、市町村規模の地域の調査を行う際の方法や地理的なまとめ方を取り上げたり、地域の将来像を考え、地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末や節末に、学習したことを文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 			
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は122ページ、「日本の様々な地域」は155ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約12%増となっている。 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の特色ある自然や人々のくらし等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。 ・アイヌ語が由来となったとされる地名やアイヌの人たちの歴史・文化の継承の取組を考察する資料を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地理スキル・アップ」で、資料等の読み取り方を身に付ける活動を工夫している。 ・「えんぴつマーク」で、学習を深めるための作業や活動を工夫している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っているマークやコーナーについて説明するページを設けている。 ・巻末に用語解説や世界の主な農産物の写真を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。 			

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・726	中学社会 地理 地域にまなぶ
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、地球儀や世界地図を活用して大陸と海洋のおよその位置から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の成り立ちから世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の自然環境の違いや衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、民族や言語、宗教等の社会的条件とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地勢や気候、民族、州境の分布図等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「多様性と経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「世界の様々な地域の調査」において、インドの調査例を示し、歴史や文化、生活等、適切な主題を設けて追究したり、調査したことをまとめ、発表する学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称と位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の地形や気候と関連する自然災害と防災への取組を取り上げたり、世界的視野から資源やエネルギーに関する課題や国内の産業的特色を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を西南部、中央部、東北部に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動 ・「身近な地域の調査」において、愛知県名古屋市での調査例を示し、テーマの設定や調査方法、調査結果のまとめ方や発表の方法を取り上げたり、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は114ページ、「日本の様々な地域」は141ページであり、総ページ数は279ページで、前回と同様となっている。（B5判からA B判に変更）</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の自然環境を生かしたくらしや農業の特色等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。 ・アイヌ語に由来する主な地名やアイヌの人たちの歴史・文化の継承の取組を考察する資料を掲載している。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地理にアプローチ」で、地図やグラフ等の見方を身に付ける活動を工夫している。 ・「読み解こう」で、資料を読み取り、考えを深める活動を工夫している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の見方や使い方について説明するページを設けている。 ・巻末に用語解説や世界の家畜の写真を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。 			

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・727	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、地球規模の大陸と海洋の大まかな形状と位置関係から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の気候帯や衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、宗教や生活、自然環境とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに自然や気候、人口分布等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「巨大な人口と急速な経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「世界の様々な地域の調査」において、韓国の調査例を示し、食文化や工業の発展等、適切な主題を設けて追究したり、調査結果をレポートにまとめ、発表する学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や日本の都道府県と地域区分を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の地形や気候と関連する自然災害や防災、減災の取組を取り上げたり、世界的視野から世界や国内の人口分布、地域間の結び付きの特色を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を自然環境の視点から、中国・四国地方を他地域との結び付きの視点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動 ・「身近な地域の調査」において、東京都練馬区での調査例を示し、調べるテーマに基づいた野外調査や資料収集の方法を取り上げたり、地域の課題や将来像を考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、節末に、学習したことを図や文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 			
内容の 排列、 構成、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をレポートにまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は118ページ、「日本の様々な地域」は157ページであり、総ページ数は280ページで、前回と同様となっている。(B5判からA B判に変更) 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の開拓の歴史や自然環境の克服等、「歴史的背景を中核とした考察」から北海道を取り上げている。 ・アイヌ語に起源をもつ北海道の地名や伝統的なアイヌ文様の刺繍がほどこされた衣服の写真に掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「技能をみがく」で、写真やグラフ等の見方を身に付ける活動を工夫している。 ・「やってみよう」で、学習したことを活用する活動を工夫している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っているマークやコーナーについて説明するページを設けている。 ・各ページに用語解説、巻末に世界の家畜の写真に掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすい色にするなど工夫されている。 			

様式 2

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・728	中学社会 地理的分野
取扱 内容 学習 指導 要領 の総 則及 び各 教科 、各 学年 の目 標、 内容 等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の4つの写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗、国境から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の自然的条件や衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、人々のくらしと産業や宗教等とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに主な国の地形や首都、気候区分等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「経済成長による社会の変化」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「世界の様々な地域の調査」において、ロシアの調査例を示し、生活や文化、交通網等、適切な主題を設けて追究したり、仮説を検証し調査結果をまとめる学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界と比べた日本の地域的特色」において、震災からの復興にかかわる防災や減災の取組を取り上げたり、世界的視野から世界と日本の産業や地域間の結び付きの特色を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動 ・「身近な地域の調査」において、愛知県小牧市での調査例を示し、野外観察を位置付けた調査方法や地理的なまとめ方を取り上げたり、地域の課題や将来像を考え、地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末や節末に、学習したことを文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内 容 列 の 構 成 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は112ページ、「日本の様々な地域」は156ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約8%減となっている。(B5判からA B判に変更)</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の自然環境を生かしたくらしや観光等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。 ・アイヌ語に由来する主な地名やアイヌ民族の工芸品を展示している展覧会の写真を掲載している。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スキルUP」で、地図や写真の活用の仕方を身に付ける活動を工夫している。 ・「トライ」で、学習した内容を深める活動を工夫している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の構成と使い方について説明するページを設けている。 ・巻末に用語解説や日本の世界遺産の写真を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、ルビをゴシック体にするなど工夫されている。 			

< 地理的分野の具体的な調査項目 >

◎調査研究の対象とした事項

- ① 大項目（「世界の様々な地域」「日本の様々な地域」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 大項目（「世界の様々な地域」「日本の様々な地域」）において、取り上げている世界の国（地域）の数
- ③ 大項目（「世界の様々な地域」「日本の様々な地域」）において、取り上げている都道府県の数
- ④ 伝統や文化に関する内容を取り上げているページ数
- ⑤ 我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数
- ⑥ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数
- ⑦ 地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数
- ⑧ 社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数
- ⑨ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する地理的事象）を取り上げている数
 - (1) 「日本の諸地域」における北海道地方のページ数
 - (2) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数
 - (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数
- ⑩ 自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数
- ⑪ 補足的な学習や発展的な学習に関する内容を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を理解させることが求められていることから、取り上げられている国の取扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 日本の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って日本の諸地域の地域的特色を理解させることが求められていることから、取り上げられている都道府県（地方）の取扱いについて把握する必要があるため。
- ④ 我が国の歴史や文化を大切に、日本人としての自覚を育むことが求められていることから、伝統や文化に関する内容等について把握する必要があるため。
- ⑤ 北方領土や竹島について、我が国の固有の領土であるが、それぞれ現在ロシア連邦と韓国によって不法に占拠されていることや、尖閣諸島については、我が国の固有の領土であり、解決すべき領有権の問題は存在していないことを理解させることが求められていることから、我が国の領土に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑥ 我が国の地形や気候と関連する自然災害と防災への努力を取り上げることで、日本全体の視野から日本の自然環境を大きくとらえることが求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑦ 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培うことが求められていることから、各分野間の有機的な関連を図る必要がある社会的事象の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑧ 基礎的・基本的な知識、概念を活用し、思考力・判断力・表現力等を確実に育むことが求められていることから、社会的事象の意味や意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑨ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ⑩ 見通しをもって学習に取り組んだり、家庭学習を促したりすることが求められていることから、主体的な学習を促す学習内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑪ 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導をすることが求められていることから、補足的な学習や発展的な学習に関する内容の取扱いについて把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者				
		東書	教出	帝国	日文	
① 大項目ごとのページ数及び総ページ数	世界の様々な地域	ページ数	122	114	118	112
		全体に占める割合	41%	41%	42%	40%
	日本の様々な地域	ページ数	155	141	157	156
		全体に占める割合	53%	51%	56%	56%
	総ページ数		295	279	280	281
	前回の総ページ数		263	279	280	305
	増減		12%	0%	0%	-8%
② 取り上げている世界の国の数	世界の様々な地域		52	58	64	26
	日本の様々な地域		19	11	8	6
	取り上げている国（地域）の総数		55	59	64	26
③ 取り上げている都道府県の数	世界の様々な地域		2	1	1	0
	日本の様々な地域		41	37	46	47
	取り上げている都道府県の総数		41	37	46	47
④	伝統や文化に関する内容を取り上げているページ数		44	48	44	54
⑤ 我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数	北方領土		11	5	4	8
	竹島		3	2	5	7
	尖閣諸島		4	2	3	9
	領土		4	3	3	6
⑥	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数		25	23	23	35
⑦	地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数		43	45	35	55
⑧	社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数（※1）		130	100	109	151
⑨ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている数	「日本の諸地域」における北海道地方のページ数		12	13	12	12
	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数		5	14	3	5
	道内の市町村等を取り上げている箇所数		60	73	59	72
⑩	自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数（※2）		77	46	46	46
⑪	補充的な学習や発展的な学習に関する内容を取り上げているページ数（※3）		1	1	2	1

- (※1) 調査項目⑧の「社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数」については、東書は「確認」「〇〇州の学習をふり返ろう」「〇〇地方の学習をふり返ろう」「この章の学習を確認しよう」「深めよう」、教出は「ふりかえる」「学習のまとめと表現」、帝国は「確認しよう・説明しよう」「学習をふりかえろう」、日文は「言語活動コーナー」「学習の確認と活用」「学習の活用」「学習のまとめ」が掲載されているページを対象とした。
- (※2) 調査項目⑩の「自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数」については、東書は「地理スキル・アップ」「ためしてみよう」「えんぴつマーク」、教出は「読み解こう」「地域調査の手引き」「地理にアプローチ」、帝国は「技能をみがく」「やってみよう」「探してみよう」「トライアル地理」、日文は「トライ」「スキルUP」が掲載されているページを対象とした。
- (※3) 調査項目⑪の「補充的な学習や発展的な学習に関する内容を取り上げているページ数」については、発展的な学習を示すマークが付いている学習が掲載されているページを対象とした。

別記

様式4の調査項目② [取り上げている世界の国名] の具体的な内容

区分	東 書		教 出	
	世界の様々な地域	日本の様々な地域	世界の様々な地域	日本の様々な地域
アジア	インド インドネシア ウズベキスタン 韓国 シンガポール タイ 中国 トルコ フィリピン ベトナム マレーシア モルディブ モンゴル	イラン インド インドネシア 韓国 シンガポール 中国	アフガニスタン イスラエル インド インドネシア 韓国 北朝鮮 サウジアラビア シンガポール スリランカ タイ 中国 トルコ ネパール パキスタン バングラデシュ フィリピン ブータン マレーシア モルディブ モンゴル	インドネシア 韓国 中国 フィリピン
ヨーロッパ	イギリス イタリア スイス スペイン ドイツ バチカン市国 フランス ベルギー ルクセンブルク ロシア連邦	イギリス イタリア デンマーク ドイツ フランス ロシア連邦	アイルランド イギリス イタリア ウクライナ オランダ コソボ スイス スペイン デンマーク ドイツ バチカン市国 フランス ポルトガル ロシア連邦	ドイツ ロシア連邦
アフリカ	エジプト エチオピア ガーナ コートジボワール ナイジェリア ブルキナファソ マダガスカル マリ 南アフリカ共和国 南スーダン モロッコ リベリア	エジプト ケニア	アルジェリア ガーナ コートジボワール コンゴ民主共和国 ザンビア ナイジェリア ボツワナ 南アフリカ共和国 ルワンダ	エチオピア
北アメリカ	アメリカ合衆国 カナダ キューバ メキシコ	アメリカ合衆国 カナダ	アメリカ合衆国 カナダ キューバ メキシコ	アメリカ合衆国
南アメリカ	アルゼンチン ウルグアイ パラグアイ ブラジル ペルー ボリビア	ブラジル ペルー	アルゼンチン ウルグアイ エクアドル ブラジル ベネズエラ ペルー ボリビア	アルゼンチン ブラジル
オセアニア	オーストラリア サモア ツバル トンガ ニュージーランド パプアニューギニア フィジー	オーストラリア	オーストラリア サモア ニュージーランド パプアニューギニア	オーストラリア

※ 巻末の索引を調査対象とする。

区分	発行者 大項目	帝 国		日 文	
		世界の様々な地域	日本の様々な地域	世界の様々な地域	日本の様々な地域
アジア	イラン インド インドネシア カザフスタン 韓国 カンボジア 北朝鮮 サウジアラビア シンガポール スリランカ タイ 中国 トルコ パキスタン バングラデシュ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー モンゴル	インド 韓国 中国	インド 韓国 クウェート サウジアラビア スリランカ 中国 マレーシア ミャンマー モンゴル	インド 韓国 中国	
ヨーロッパ	アイスランド イギリス イタリア オランダ ギリシャ スイス スペイン チェコ デンマーク ドイツ ノルウェー バチカン市国 ハンガリー フランス ポーランド ロシア連邦	ロシア連邦	イギリス イタリア ウクライナ ドイツ バチカン市国 ロシア連邦	ロシア連邦	
アフリカ	エジプト ガーナ ギニア ケニア コートジボワール ザンビア セネガル タンザニア ナイジェリア マラウイ マリ 南アフリカ共和国		南アフリカ共和国 モザンビーク		
北アメリカ	アメリカ合衆国 カナダ メキシコ	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国 カナダ メキシコ	アメリカ合衆国	
南アメリカ	アルゼンチン エクアドル コロンビア チリ ブラジル ベネズエラ ペルー ボリビア	ブラジル	ブラジル	ブラジル	
オセアニア	オーストラリア ツバル ニュージーランド バプアニューギニア フィジー	オーストラリア ニュージーランド	オーストラリア キリバス ツバル トンガ ニュージーランド		

※ 巻末の索引を調査対象とする。

別記

様式4の調査項目③ [取り上げている都道府県名] の具体的な内容

発行者 区分	東 書		教 出		帝 国		日 文	
	世界の 様々な地域	日本の 様々な地域	世界の 様々な地域	日本の 様々な地域	世界の 様々な地域	日本の 様々な地域	世界の 様々な地域	日本の 様々な地域
北海道 (市町村)	北海道	北海道 旭川市 えりも町 小樽市 帯広市 釧路市 札幌市 白老町 苫小牧市 根室市 函館市 富良野市 夕張市		北海道 釧路市 札幌市 根室市 函館市		北海道 旭川市 小樽市 札幌市 函館市		北海道 札幌市 標津町 洞爺湖町 美瑛町
東北地方		青森県 秋田県 岩手県 福島県 宮城県 山形県		青森県 秋田県 岩手県 山形県		青森県 秋田県 岩手県 福島県 宮城県 山形県		青森県 秋田県 岩手県 福島県 宮城県 山形県
関東地方		茨城県 神奈川県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 栃木県		茨城県 神奈川県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都	東京都	茨城県 神奈川県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 栃木県		茨城県 神奈川県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 栃木県
中部地方		愛知県 石川県 静岡県 富山県 長野県 新潟県 福井県		愛知県 石川県 岐阜県 静岡県 長野県 新潟県 福井県 山梨県		愛知県 岐阜県 静岡県 富山県 長野県 新潟県 福井県 山梨県		愛知県 石川県 岐阜県 静岡県 富山県 長野県 新潟県 福井県 山梨県
近畿地方		大阪府 京都府 滋賀県 奈良県 兵庫県 三重県 和歌山県		大阪府 京都府 滋賀県 奈良県 兵庫県 三重県 和歌山県		大阪府 京都府 滋賀県 奈良県 兵庫県 三重県 和歌山県		大阪府 京都府 滋賀県 奈良県 兵庫県 三重県 和歌山県
中国地方		岡山県 島根県 鳥取県 広島県		島根県 広島県		岡山県 島根県 鳥取県 広島県 山口県		岡山県 島根県 鳥取県 広島県 山口県
四国地方		愛媛県 香川県 高知県 徳島県	高知県	高知県 徳島県		愛媛県 香川県 高知県 徳島県		愛媛県 香川県 高知県 徳島県
九州地方	長崎県	沖縄県 鹿児島県 長崎県 福岡県 宮崎県		大分県 沖縄県 鹿児島県 熊本県 長崎県 福岡県 宮崎県		大分県 沖縄県 鹿児島県 熊本県 佐賀県 長崎県 福岡県 宮崎県		大分県 沖縄県 鹿児島県 熊本県 佐賀県 長崎県 福岡県 宮崎県

※ 巻末の索引を調査対象とする。

別記

様式4の調査項目④〔伝統や文化に関する内容を取り上げているページ〕の具体的な内容

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
東 書	雪と氷の中で暮らす人々	伝統的な知恵を生かして真っ白な氷の上を移動する	25	1
	温暖な土地に暮らす人々	現代に生きる古くからの町並み	29	1
	乾燥した土地に暮らす人々	サヘルの宗教	31	1
	常夏の島で暮らす人々	フィジーに住むインド系住民	33	1
	人々の生活に根付く宗教	日本人の生活と宗教の関わり	38-39	2
	伝統的な生活とその変化	多様化した食生活	40	1
	イスラム教と人々の暮らし	イスラム教と「コーラン」	41	1
	アジア州をながめて	入り交じる文化	47	1
	資源の豊かな西アジア・中央アジア	イスラム教徒が多い西アジア	56-57	2
	アジアで交流する文化	活発化する文化の輸出	59	1
	ヨーロッパ文化の共通性	キリスト教の信仰	64-65	2
	ヨーロッパの課題とロシア連邦	広大なロシア連邦	69	1
	アフリカ州をながめて	伝統的な文化と産業	75	1
	北アメリカ州をながめて	人々と文化	85	1
	産業を支える新しい文化と人々	快適な生活の追求	90-91	2
	多民族社会を形成するアメリカ	さまざまな多民族社会	93	1
	南アメリカ州をながめて	混じり合う人々と文化	96-97	2
	南アメリカで活躍する日系移民	日系社会の形成と変化	103	1
	オセアニア州をながめて	オセアニアの文化	107	1
	人々によるアジアとのつながり	多文化社会を目指して	110	1
	調査のまとめをしよう	韓国の食文化の背景	123	1
	調査の発表をしよう	食文化から韓国をさぐる！	124-125	2
	日本をいくつかの地域に分けよう	自然や文化を基に区分する	139	1
	近畿地方の人々の営み	今に生きる伝統工芸	207	1
	古都の成り立ちと現在	世界の人々を呼び寄せる観光地	208-209	2
	中部地方の人々の営み	盛んな工業、農業、観光産業	218-219	2
	工業の発展と地域の変化	雪国で育った伝統産業	221	1
	北陸の食文化	郷土料理	226	1
	祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり	いましめと祝いの民俗行事	244-245	2
	伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業	地域の資源と結び付いた伝統工芸	246-247	2
	過去からの継承と未来に向けた社会づくり	津波てんでんこ	248	1
	産業を活性化させる人の流れ	仙台市を事例に考える	250	1
	北海道地方の人々の営み	先住民と開拓	255	1
アイヌの人たちと多文化共生	自然と結び付いたアイヌの文化	262	1	
教 出	赤道に沿った暑い世界	マレーシアの暮らしの変化	27	1
	季節の変化が明らかな世界	温帯の自然環境	30	1

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
教 出	標高が高く空気の薄い世界	アンデス高地の暮らしの変化	35	1
	さまざまな言語と人々の暮らし	民族と文化	36	1
	さまざまな宗教と人々の暮らし	世界の宗教	38-39	2
	アジアをながめて	アジアの歩み	42-43	2
	変わる産業と貿易	さまざまな民族と宗教	51	1
	多様な農業と、世界とつながる工業	南アジアの工業	52	1
	世界を動かす石油資源	伝統的な暮らしとその変化	55	1
	宗教をめぐる共存と対立	宗教をめぐる共存と対立	57	1
	アフリカをながめて	州の位置と多くの国々	58-59	2
	伝統的な農村のいま	自然に適応した農業	62	1
	ヨーロッパをながめて	宗教の違いをみてみよう	69	1
	ヨーロッパの農業のいま	食文化と農業との深いかかわり	73	1
	国境を越える工業生産	外国人労働者の増加と課題	75	1
	都市生活とアメリカ文化	都市生活の拡大と消費文化	88-89	2
	多民族の共存と貧困	カナダの多文化主義	91	1
	南アメリカの経済開発と社会	多文化社会が根づく南アメリカ	101	1
	オセアニアをながめて	ヨーロッパの影響	105	1
	多文化主義の社会をみざして	白豪主義から多文化主義へ	107	1
	変わる「楽園」の暮らし	サモアの国と社会	111	1
	地域の多様なすがたを調べよう	現代までの歩みを調べる	114-115	2
	「世界のさまざまな地域の調査」をまとめる	カレーからみた食文化	120	1
	さまざまな地域区分	生活・文化からみる地域区分	134-135	2
	歴史に育まれた地域	都としての長い歴史	188	1
	京都の街並みと景観保全	歴史的街並みの変化	190-191	2
	阪神工業地帯の発展と課題	伝統技術と先端技術	193	1
	雪に育まれた伝統産業	城下町 金沢市	208-209	2
	多文化共生をみざして	共生のための取り組み	210-211	2
	豊かな文化を育んだ地域	秋田音頭と秋田の風物	226	1
	現代に生きる地域文化	東北地方の祭り	228-229	2
	東北地方の食文化と水産業	東北地方の食文化	230	1
	農村の暮らしの変化	一関市と平泉町の景観保全	235	1
	震災を乗り越えて	これからも祭りは引き継がれていく	237	1
自然改変の歴史をもつ地域	開拓の歴史と自然環境の改変	238-239	2	
アイヌの人たちの文化にまなぶ	アイヌ・モシシの暮らし	248-249	2	
帝 国	暑い地域の暮らし	伝統的な衣服を着た人々	18-19	2
	乾燥した地域の暮らし	れんがでつくった伝統的な家	21	1
	温暖な地域の暮らし	伝統と現代の生活文化の共存	23	1
	世界各地の衣食住とその変化	伝統的な生活様式の変化	28	1

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
帝 国	宗教と生活とのかかわり	生活や文化とのかかわりが深い宗教	30-31	2
	地域によって異なるアジアの農業や文化	交流によって広まった宗教	39	1
	産業の発展が急速に進む南アジア	国によって異なる宗教	44	1
	資源が豊富な西アジア・中央アジア	変化するイスラム教徒の女性の服	47	1
	ヨーロッパ文化の共通性と多様性	共通するキリスト教の伝統	54-55	2
	ヨーロッパの農業の今	多様な食文化をはぐくんできた農業	58	1
	アフリカの文化と歴史	広い大陸でみられる文化	68-69	2
	移民の歴史と多様な民族構成	集まる多様な文化	78-79	2
	世界に広がるアメリカ合衆国の影響	世界中に広がる文化とその影響	85	1
	多様な民族と人々の生活	カーニバルにみる文化の融合	92-93	2
	移民の歴史と多文化社会への歩み	多文化社会への歩み	104-105	2
	調査テーマを決めよう	調査テーマ 韓国の食文化	111	1
	資料を集めて調べよう	おかげがいっぱい、韓国の食文化	112	1
	資料を集めて調べよう	調査テーマ 韓国の食文化	114	1
	調査結果をまとめよう	調査テーマ 韓国の食文化	117	1
	南西諸島の自然環境と生活や産業	アジアとの交流の歴史	179	1
	海外と結びついた瀬戸内の工業	伝統的な産業の新しい形	189	1
	観光客を呼び寄せる取り組み	交通網の発達による観光地の変化	192-193	2
	過疎地域での地域おこしの取り組み	徳島県神山町を例に	194	1
	古都奈良・京都と歴史的景観の保全	古都奈良・京都とその町なみ	204-205	2
	環境に配慮した林業・漁業と保全活動	紀伊山地の観光と景観保全	207	1
	伝統的な地場産業から先端技術産業まで	京都府京都市を例に	208	1
	雪とのかかわりが深い北陸の産業	雪国で発達した地場産業	221	1
	多文化の共生をめざしたまちづくり	群馬県大泉町を例に	238	1
	寒い夏に対する稲作と畑作の努力	郷土料理と伝統行事としての芋煮会	245	1
	伝統文化を生かした観光業の発展	地域の農業と深く結びついた祭り	248-249	2
	発展する工業と生活の変化	現代の生活に合わせて進化する伝統的工芸品	250	1
	地震への備えと復興に向けた取り組み	岩手県宮古市を例に	252	1
	厳しい自然環境を克服した稲作の歴史	北海道の歴史とかかわりの深い地名	259	1
	歴史や北国の自然を生かした観光業	歴史ある町なみを生かした観光業	262	1
日 文	温暖な地域に生きる人々	変化する生活と食文化を守る取り組み	19	1
	寒い地域に生きる人々	変化する生活	21	1
	海に生きる人々	インド洋の島々と交易	25	1
	さまざまな宗教と人々の生活	世界の三大宗教	26-27	2
	さまざまな言語と人々の生活	世界のさまざまな言語	29	1
	アジア州の人口、文化、産業	アジア州の多様な文化	34-35	2
	鉱産資源による経済成長	経済成長と社会の変化	43	1
	自由研究	経済成長を続けるスリランカと日本	44	1

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ数
日 文	ヨーロッパ州の民族、文化、産業	キリスト教に基づく文化	48-49	2
	アフリカ州の歴史、文化、産業	多用で複雑な文化	60-61	2
	北アメリカ州の歴史、民族、産業	ヒスパニックの人々	71	1
	アメリカと世界との結びつき	世界に広がるアメリカの文化	77	1
	南アメリカ州の民族、文化、産業	多様な民族と文化	82-83	2
	自由研究	移民でつながるブラジルと日本	88	1
	オセアニア州の人口、民族、産業	かたよる人口分布と民族	92-93	2
	変化する先住民族と移民の社会	白豪主義から多文化社会へ	94-95	2
	調査を進めよう①	旅行体験記や小説を使って調査する	105	1
	調査を進めよう②	聞き取り調査をする	107	1
	調査結果をまとめよう	仮説を検証する	109	1
	日本のさまざまな地域区分をとらえる	生活・文化による区分をとらえる	124-125	2
	環境保全のためのさまざまな取り組み	沖縄の歴史的なあゆみ	178-179	2
	近畿地方の歴史、人口、産業	長い歴史に支えられた近畿地方	196-197	2
	歴史的都市の街なみと文化	京都・奈良の歴史的な街なみ	198-199	2
	関西大都市圏の成り立ち	鉄道網の発達と大都市圏	201	1
	近畿地方の産業と歴史	歴史に根ざした伝統工業	202-203	2
	時代の変化に対応する伝統文化	京都府京都市の祇園祭を例に	204	1
	中部地方の人口や産業	自然環境や伝統文化を生かした観光業	209	1
	日本の工業の中心地、東海	多文化共生社会をめざして	211	1
	自然環境からみた北陸の産業の特色	伝統工業と近代工業	214-215	2
	伝統工業・地場産業の現状と未来	輪島塗、鯖江の眼鏡を例に	216	1
	関東地方の人口、産業、文化	第3次産業と都市文化	221	1
	東北地方の人口、産業と震災の影響	東北地方の復興を願う祭り	233	1
	東北地方の伝統文化を守る取り組み	東北地方の祭りや年中行事	234-235	2
	生活・文化からみた東北地方の農業・工業	特色ある伝統工業	236-237	2
	東北地方の生活・文化と他地域との結びつき	強まる関東地方との結びつき	238	1
	過去からの伝承に学ぶ	災害を後世に伝えるために	240	1
	北海道地方の歴史、人口、産業	北海道地方の歴史	244	1
	自然環境を生かした人々の生活	アイヌ民族の生活と自然環境	247	1
自然環境を守りながら地域を活性化する取り組み	観光による地域の活性化	251	1	

別記

様式4の調査項目⑤「我が国の領土に関する内容を取り上げているページ」の具体的な内容

者	種	教科書の構成	取扱い方	タイトル・主な内容	ページ	ページ数
東 北 書	北 方 領 土	ヨーロッパの課題とロシア連邦	コラム	広大なロシア連邦	69	1
		日本の領域の特色を見よう	地図	日本の領域と排他的経済水域（北方領土）	132-133	2
			写真	散布山 北端（択捉島）		
			地図	日本の領土返還の歴史と北方領土		
			本文	「北海道の東にある北方領土は、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島から成り立っています。（略）」		
		日本列島を構成する島々	本文	「前のページで見たように、海に囲まれた日本列島は、大小さまざまな島から成り立っています。（略）」	134-135	2
			地図	日本の領域と排他的経済水域		
			コラム	北方領土		
			写真	択捉島の散布山		
			地図	北方領土周辺の地形		
			地図	20万分の1地勢図		
		いろいろな見方で都道府県を探ろう	地図	略地図の例	137	1
北海道地方の生活の舞台	地図	北海道地方の自然環境	252	1		
北海道地方の人々の営み	地図	北海道地方の人口	254	1		
北海道地方の人々の営み	地図	北海道地方の産業	255	1		
自然の制約に適応する人々の工夫	本文	「北海道は、都道府県別の漁獲量で全国第1位です。（略）」	257	1		
北海道地方の学習をふり返ろう	地図	北海道地方の地名を確認しよう（択捉島）	261	1		
竹 島	日本列島を構成する島々	本文	「前のページで見たように、海に囲まれた日本列島は、大小さまざまな島から成り立っています。（略）」（再掲）	134	1	
		地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）			
日本列島を構成する島々	地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）	132-133	2		
	写真	竹島				
本文	「北海道の東にある北方領土は、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島から成り立っています。（略）」（再掲）					
尖 閣 諸 島	日本の領域の特色を見よう	地図	日本の領域と排他的経済水域（尖閣諸島）（再掲）	132-133	2	
		本文	「北海道の東にある北方領土は、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島から成り立っています。（略）」（再掲）			
日本列島を構成する島々	本文	「前のページで見たように、海に囲まれた日本列島は、大小さまざまな島から成り立っています。（略）」（再掲）	134-135	2		
	地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）				
	コラム	尖閣諸島				
	写真	尖閣諸島				
	地形図	尖閣諸島周辺の地形				
	地形図	魚釣島の5万分の1地形図				
	地形図	久場島の5万分の1地形図				
	領 土	日本の位置を調べよう			地図	日本と同緯度、同経度の範囲
日本列島を構成する島々	日本の領域の特色を見よう	地図	日本の領域と排他的経済水域（小笠原諸島、南西諸島、伊豆諸島）（再掲）	132-133	2	
		写真	日本最西端の碑 西端			
		写真	南端			
		写真	東端			
		本文	「領域は領土、領海、領空から成り立ちます。（略）」			
		図版	領土、領海、領空の区分			

		図版 地図	主な国の領海・排他的経済水域と領土の面積 日本の領土返還の歴史と北方領土（奄美群島、小笠原諸島、沖縄）（再掲）			
		コラム 写真	沖ノ鳥島の護岸工事 工事前と工事後			
		この章の学習を確認しよう	地図	日本の東西南北端	140	1
教 出	北 方 領 土	日本の国土の広がり	地図	日本の領土・領海と排他的経済水域（国土の北端 北緯45度33分 ①□）	128	1
		日本の領土をめぐって	本文 写真 地図 写真 年表	「上の図2をみてみましょう。（略）」 領土問題などを話し合う「日ロ首脳会談」の様子 北方領土とその周辺 日本とロシアの中学生による意見交換会 北方領土問題に関する主なできごと	130	1
	自然改変の歴史をもつ地域	本文	「北海道の中央部には大雪山や石狩山地がそびえ、そこから南北にちょうど背骨のように日高山脈がのびて北海道を東と西に分けています。（略）」	238	1	
	現代日本の課題を考えよう	地図	「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布	249	1	
	学習のまとめと表現	地図	北方領土	250	1	
	竹 島	日本の国土の広がり	地図	日本の領土・領海と排他的経済水域（竹島）（再掲）	128	1
	日本の領土をめぐって	本文 地図 写真	「竹島周辺では、江戸時代の初めから日本人が漁業を行ってきました。（略）」 竹島、尖閣諸島の位置 竹島	131	1	
尖 閣 諸 島	日本の国土の広がり	地図	日本の領土・領海と排他的経済水域（尖閣諸島）（再掲）	128	1	
	日本の領土をめぐって	本文 地図 写真	「竹島周辺では、江戸時代の初めから日本人が漁業を行ってきました。（略）」（再掲） 竹島、尖閣諸島の位置（再掲） 尖閣諸島	131	1	
領 土	日本の国土の広がり	本文 地図 写真 写真 写真 写真 図版 図版 本文 コラム	「日本の国土は、ユーラシア大陸と太平洋の間に広がっています。（略）」 日本の領土・領海と排他的経済水域（国土の北端、東端、西端、南端）（再掲） A. 沖ノ鳥島 B. 与那国島 C. 南鳥島 工事中の沖ノ鳥島 領土・領海・領空の区分 主な国の領土と排他的経済水域の面積 「国の領域は領土、領海、領空からなります。（略）」 日本の最南端をめぐる問題	128-129	2	
	地理にアプローチ	地図	日本の略地図を描こう（南西諸島）	136	1	
	帝 国	日本の領域と領土問題	写真	日本の北端（択捉島）	124	1
		日本の領域と領土問題	本文 写真 図版 写真	「北海道の北東にある国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島は、日本固有の領土で、北方領土とよばれています。（略）」 北海道から見える北方領土の島々 北方領土周辺の国境の移り変わり かつて島に住んでいた日本人の墓に手を合わせる ビザなし交流訪問団の人々	126-127	2
		北海道地方の自然環境	地図 本文	北海道地方の自然 「北海道は、日本の北の端に位置しています。（略）」	256	1
		写真	ビザなし交流でロシアから日本に来た中高生たち			
		竹	日本の領域と領土問題	地図	日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲	124

島	日本の領域と領土問題	本文	(竹島) (再掲) 「日本海にある竹島では、17世紀には日本人々が漁を行っていました。(略)」	127	1		
		写真	竹島				
		地図	竹島の位置				
		コラム	漁業がさかんだった昔の竹島				
		写真	隠岐の島民たちが行っていた竹島での漁のようす				
	中国・四国地方の自然環境	地図	中国・四国地方の自然	184	1		
	交通網の整備と人々の生活の変化	地図	中国・四国地方の高速道路網と高松市から3時間以内で移動できる範囲の変化	187	1		
	観光客を呼び寄せる取り組み	地図	中国・四国地方の交通網とおもな都市を訪れる観光客数の変化	193	1		
尖閣諸島	日本の領域と領土問題	地図	日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲(尖閣諸島) (再掲)	124	1		
	日本の領域と領土問題	本文	「東シナ海にある尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された日本固有の領土です。(略)」	127	1		
		写真	尖閣諸島				
		写真	日本の領海に侵入する中国の船				
	九州地方の自然環境	地図	九州地方の自然	170	1		
領土	日本の領域と領土問題	本文	「一つの国の範囲を領域とといいます。(略)」	124-126	3		
		地図	日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲(西之島) (再掲)				
		写真	日本の西端(与那国島)				
		写真	日本の東端(南鳥島)				
		写真	日本の南端(沖ノ鳥島)				
		本文	「領海の外側には、沿岸の国が魚などの水産資源や、海底にある鉱産資源を利用する権利をもつ排他的経済水域があります。(略)」				
		図版	領土・領海・領空の模式図				
		図版	おもな国の排他的経済水域の面積				
		コラム	護岸工事によって守られた沖ノ鳥島				
		写真	波の浸食から守るための護岸工事がほどこされた現在の沖ノ鳥島				
		写真	活発な噴火を続ける西之島				
		写真	渥美半島沖の海底から天然ガスを採取する船				
		本文	「日本の領域は、外国との交渉や戦争のあとに結ばれる条約などによって時代とともに変化してきました。(略)」				
日 文	北方領土	世界のさまざまな地域の調査	囲み	ロシアについて知っていること	101	1	
		私たちが生活する日本の領域をとらえる	写真	国土の北端(択捉島)	116	1	
		日本の領域をめぐる問題をつかむ	本文	「北方領土は、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島からなる日本固有の領土です。(略)」	118-119	2	
			地図	北方領土・竹島・尖閣諸島の位置			
			地図	北方領土付近の国境の変化			
			本文	「1951年のサンフランシスコ平和条約でも、北方領土と竹島が日本固有の領土であることが確認されています。(略)」			
			写真	羅臼町から見た国後島			
			写真	「ビザなし交流」で国後島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団			
			日本の姿をふりかえろう	囲み	チェックボックス	130	1
			日本の地形	地図	日本の主な山地・島	134	1
	北海道地方の自然環境	地図	北海道地方の地形	242-243	2		
		本文	「『北の大地』ともよばれる北海道地方は、日本の最も北に位置しています。(略)」				
竹 島	私たちが生活する日本の位置をとらえる	地図	日本とその周辺のようす(再掲)	114	1		
	私たちが生活する日本の領域をとらえる	地図	日本の領域と排他的経済水域(竹島)(再掲)	116	1		
	日本の領域をめぐる問題をつかむ	本文	「竹島は、本州からおよそ200kmはなれた日本海	118-119	2		

			にある、日本固有の領土です。(略)」			
	地図		北方領土・竹島・尖閣諸島の位置 (再掲)			
	本文		「1951年のサンフランシスコ平和条約でも、北方領土と竹島が日本固有の領土であることが確認されています。(略)」(再掲)			
	写真		竹島			
	写真		竹島が日本固有の領土であることを示す地図の展示			
	日本の姿をふりかえろう	囲み	チェックボックス (再掲)	130	1	
	日本の地形	地図	日本の主な山地・島 (再掲)	134	1	
	中国・四国地方	本文	「中国・四国地方は、九州地方と近畿地方のあいだにあり、瀬戸内海をはさんで、山地・平野が東西に長くつらなっている地方です。(略)」	183	1	
尖閣諸島	私たちが生活する日本の位置をとらえる	地図	日本とその周辺の様子 (再掲)	114	1	
	私たちが生活する日本の領域をとらえる	地図	日本の領域と排他的経済水域 (尖閣諸島) (再掲)	116-117	2	
		本文	「国の主権がおよぶ範囲を、領域といいます。(略)」			
	日本の領域をめぐる問題をつかむ	地図	北方領土・竹島・尖閣諸島の位置 (再掲)	118-119	2	
		本文	「尖閣諸島は、石垣島からおよそ170kmはなれた東シナ海にあります。(略)」			
		写真	尖閣諸島			
		写真	尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船			
		日本の姿をふりかえろう	囲み	チェックボックス (再掲)	130	1
		日本の地形	地図	日本の主な山地・島 (再掲)	134	1
		九州地方の自然環境	地図	九州地方の県と地形	170-171	2
		本文	「九州地方は、日本の四つの大きな島の一つである九州と、南西諸島などの島々からなり、離島もたくさんあります。(略)」			
領土	私たちが生活する日本の位置をとらえる	地図	日本とその周辺の様子 (国土の東端、西端、南端) (再掲)	114-115	2	
		地図	日本と緯度・経度が等しい国 (北端、東端、西端、南端)			
	私たちが生活する日本の領域をとらえる	地図	日本の領域と排他的経済水域 (国土の東端、西端、南端) (再掲)	116-117	2	
		写真	国土の東端			
		写真	国土の西端			
		写真	国土の南端			
		コラム	日本の海が広がった!			
		本文	「国の主権がおよぶ範囲を、領域といいます。(略)」			
		本文	「国境は、独立国にとって、非常に重要なものです。(略)」			
		図版	領土・領海・領空・排他的経済水域の範囲			
	図版	主な国の排他的経済水域面積を含めた領域面積				
	コラム	沖ノ島島を守れ!				
	写真	護岸工事で保護された沖ノ島島				
	日本の領域をめぐる問題	地図	北方領土・竹島・尖閣諸島の位置 (国境線、与那国島、西表島、石垣島、宮古島、隠岐諸島) (再掲)	118	1	
	日本の姿をふりかえろう	囲み	チェックボックス (領海、排他的経済水域、領土問題、領土、領空、国境) (再掲)	130	1	

※事項欄の「北方領土」は北方領土に関する記述、「竹島」は竹島に関する記述、「尖閣諸島」は尖閣諸島に関する記述、「領土」は我が国の領域 (領土、領海、領空)、排他的経済水域、島々、東西南北端に関する記述を表している。(北方領土、竹島、尖閣諸島に関する記述と同じ箇所を取り上げた場合は再掲と示した。)

別記

様式4の調査項目⑥〔自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数〕の具体的な内容

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
東 書	北アメリカ州をながめて	大陸と島々	84	1
	資源によるアジアとのつながり	オーストラリアにおける異常気象の被害	109	1
	自然災害と防災への取り組み	さまざまな自然災害	152	1
	自然災害と防災への取り組み	被災地へのさまざまな支援・防災対策と防災意識	153	1
	震災と防災・減災への取り組み	地震と津波の被害	154	1
	震災と防災・減災への取り組み	これまでの防災への取り組み	155	1
	さまざまな発電方法の特徴と課題	原子力発電	170	1
	九州地方の生活の舞台	火山活動に由来する地形	180	1
	九州地方の生活の舞台	台風と人々の生活	181	1
	多様な環境問題と環境保全の取り組み	豪雨がもたらす土砂くずれと水害	184	1
	多様な環境問題と環境保全の取り組み	豪雨と開発がもたらす赤土被害	185	1
	工業化・都市化にともなう地域への影響	安全、快適な都市づくり	186	1
	工業化・都市化にともなう地域への影響	博多駅周辺の浸水	187	1
	近畿地方の生活の舞台	自然災害への備え、阪神・淡路大震災の教訓	205	1
	中部地方の生活の舞台	水害を防ぐ工夫	217	1
	工業の発展と地域の変化	原子力発電所のある地域	221	1
	関東地方の生活の舞台	集中豪雨から都市を守る地下調節池	229	1
	東北地方の生活の舞台	大地震のつめあと	241	1
	東北地方の人々の営み	さまざまな産業と地域の復興	243	1
	祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり	伝統の祭りに復興の願いを	245	1
過去からの継承と未来に向けた社会づくり	津波てんでんこ	248	1	
産業を活性化させる人の流れ	仙台市を事例に考える	250	1	
北海道地方の生活の舞台	克雪、利雪、楽雪	253	1	
自然の制約に適応する人々の工夫	自然災害に備える	256	1	
自然の制約に適応する人々の工夫	洞爺湖有珠山ジオパーク	257	1	
教 出	北アメリカをながめて	多様な自然環境	83	1
	多民族の共存と貧困	災害と人種差別	91	1
	地域や国の課題を調べよう	洪水に見舞われた道路(バングラデシュ・ダッカ)	118	1
	変動する大地と安定した大地	噴煙を上げる有珠山(2000年 北海道洞爺湖町)	138	1
	変動する大地と安定した大地	なぜ、日本では地震が多く起きるのか	139	1
	四季のある気候	台風の接近	145	1
	自然がもたらす災害と向き合う	地震にともなう津波(2011年3月11日 岩手県宮古市)	146	1
	自然がもたらす災害と向き合う	日本周辺の主な地震と活断層の分布図	147	1
	災害から身を守るために	横須賀市が作成した津波ハザードマップ	148	1
	災害から身を守るために	釜石の津波防災教育の取り組み	149	1
	多様な自然環境に恵まれた地域	温暖な気候と台風の通り道	163	1

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
教 出	火山とともに暮らす	火山が集中する九州地方	166	1
	火山とともに暮らす	九州地方の主な火山分布	167	1
	人口分布のかたよる地域	山と海に挟まれた自然環境	175	1
	日本の中心的な地域	気候の特色と地域差	213	1
	現代に生きる地域文化	東北地方の祭り	228	1
	東北地方の食文化と水産業	水産業の発展	231	1
	冷害を乗り越える農家	冷害を乗り越えるために	232	1
	冷害を乗り越える農家	東北地方の稲の冷害	233	1
	震災を乗り越えて	東日本大震災の発生と被害	236	1
	震災を乗り越えて	文化財の救済事業	237	1
	豊かな自然を生かした観光	有珠山の火山噴火による災害遺構(2003年 北海道洞爺湖町)	246	1
	豊かな自然を生かした観光	火山と温泉	247	1
帝 国	北アメリカ州の自然環境	熱帯から寒帯までの多様な気候	77	1
	世界の地形	地震でこわれた教会(ニュージーランド、クライストチャーチ)	132	1
	世界の地形	どうして日本では地震が多いのだろうか?	133	1
	日本の気候	日本の気候の特色	142	1
	日本のさまざまな自然災害	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)で発生した津波が堤防をこえるようす(岩手県、宮古市)	144	1
	日本のさまざまな自然災害	大雪で動けなくなった自動車(山梨県、富士吉田市)	145	1
	自然災害に対する備え	防災訓練で津波避難タワーに避難する人たち(静岡県、富士市)	146	1
	自然災害に対する備え	災害救助と復旧のための作業を行う自衛隊と消防隊(東京都、大島町)	147	1
	トライアル地理	ハザードマップを使ってみよう	148-149	2
	日本の資源・エネルギーと電力	生活を支える電力	157	1
	九州地方の自然環境	海に囲まれて火山が多い九州地方	170	1
	九州地方の自然環境	都市型水害に備えて	171	1
	自然とともにある九州の人々の生活	道路に積もった火山灰を掃除する清掃車(鹿児島県、鹿児島市)	172	1
	南西諸島の自然環境と生活や産業	南国の自然がみられる南西諸島	178	1
	中国・四国地方の自然環境	水不足問題の解消に向けて	185	1
	近畿地方の自然環境	震災の経験を生かした神戸市のまちづくり	199	1
	中部地方の自然環境	富士山の噴火や地震に備えて	213	1
	関東地方の自然環境	都市における地震被害に備える	227	1
	東北地方の自然環境	震災を後世に伝える桜ライン	243	1
	寒い夏に対する稲作と畑作の努力	米づくりと寒い夏の克服	244	1
地震への備えと復興に向けた取り組み	岩手県宮古市を例に	252	1	
北海道地方の自然環境	冬の交通の安全を確保する取り組み	257	1	

発行者	教科書の構成	タイトル・主な内容	ページ	ページ
日 文	北アメリカ州の自然環境	多様な気候をもつ北アメリカ州	69	1
	日本の地形	日本列島には火山も多く、ときには噴火による自然災害も起こりますが、(略)	134	1
	日本の地形	日本のまわりの海	135	1
	日本の気候	夏から秋の気候	139	1
	世界と日本の地震・火山災害	東日本大震災の津波で被害を受けた市街地 (岩手県陸前高田市)	140	1
	世界と日本の地震・火山災害	火山の噴火による災害	141	1
	世界と日本の気象災害	土石流による災害(2014年 広島市安佐南区)	142	1
	世界と日本の気象災害	大雪による道路の混乱(2014年 長野県軽井沢町)	143	1
	災害にそなえるために	緊急地震速報が発表されたときの対応	144	1
	災害にそなえるために	「釜石の奇跡」はなぜ起こったのか	145	1
	東日本大震災からの復興をめざして	阪神・淡路大震災の経験を生かして	146-147	2
	せまりくる巨大地震	南海トラフ沿いの巨大地震にそなえて	148-149	2
	世界と日本の資源・エネルギー	日本のエネルギー消費と再生可能エネルギー	155	1
	原子力発電所の事故と再生可能エネルギー	福島第一原子力発電所の事故	156	1
	原子力発電所の事故と再生可能エネルギー	除染作業のようす(2012年、福島県川内村)	157	1
	世界から見た日本の姿をふりかえろう	チェックボックス	168	1
	九州地方の自然環境	噴煙をあげる桜島と鹿児島市内の降灰(2013年、鹿児島県)	170	1
	九州地方の自然環境	風水害の多い九州地方	171	1
	人口の集中する瀬戸内海沿岸	丘陵地では、土石流などの災害も発生しています。	187	1
	交通網の発達による人の動きの変化	巨大地震にそなえる過疎地域の課題	191	1
	近畿地方の自然環境	台風による風水害	195	1
	関西大都市圏の成り立ち	阪神・淡路大震災	201	1
	中部地方の自然環境	水とつき合う地域の知恵	207	1
	東京大都市圏の人々の結びつき	治水で都市を守るー荒川を例にー	225	1
	東北地方の自然環境	平安時代の天津波が語ること	231	1
	東北地方の人口、産業と震災の影響	東北地方の復興を願う祭り	233	1
	生活・文化からみた東北地方の農業・工業	世界におよんだ震災の影響	237	1
	東北地方の生活・文化と他地域との結びつき	津波の被害を受けた楽器などの保管場所	239	1
	過去からの伝承に学ぶ	災害を後世に伝えるために	240	1
	自然環境を生かした人々の生活	雪とともに生きる	247	1
火山と地域との共生	洞爺湖有珠山ジオパークを例に	252	1	
調査を進めよう②	「地域の危険度(建物全壊率)マップ」から、 小牧市の防災対策を確かめる	263	1	
調査結果をまとめて、地域の課題をとらえよう	地域の課題をとらえる	265	1	

別記

様式4の調査項目⑦ [地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ] の具体的な内容

者	教科書の構成	項目	タイトル・主な内容	ページ	ページ
東 書	寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	環境問題	シベリアの永久凍土	27	1
	乾燥した土地に暮らす人々	環境問題	砂漠化	31	1
	常夏の島で暮らす人々	環境問題	さんご礁やマングローブの破壊	33	1
	成長する東アジア② 中国の発展	環境問題	大気汚染、河川や湖の汚染、土壌の汚染	51	1
	南アジアで急速に成長するインド	環境問題	河川や大気汚染	55	1
	環境に配慮されたヨーロッパ社会	環境問題	大気汚染や騒音の減少	71	1
	アフリカ州をながめて	国際紛争	民族間の対立	75	1
	アフリカの産業と新たな開発	国際協力	アフリカへの援助	76	2
	アフリカの課題と展望	食糧問題	人口増加に伴う食料不足	78	1
		環境問題	野生の動植物の減少		
	アフリカの課題と展望	国際協力	アフリカへの食料援助や開発援助	79	1
		人権問題	南アフリカ共和国の人種差別		
	広大な国土と工業化した農業	食糧問題	穀物の運搬・加工・販売	87	1
	産業を支える新しい文化と人々	資源・エネルギー問題	大量生産・大量消費	90	1
	多民族社会を形成するアメリカ	人権問題	多様な文化	93	1
	開発の進行とその影響	環境問題	持続可能な開発	101	1
	人々によるアジアとのつながり	人権問題	アボリジニの先住権	110	1
	水没の危機にあるとされるツバル	環境問題	地球規模の環境変動	113	1
	世界の人口分布と変化	人口減少問題	少子高齢化	157	1
	日本の人口と過疎・過密問題	人口減少問題	少子高齢化	158	1
	世界の資源・エネルギーと産業	資源・エネルギー問題	世界のエネルギー消費量	160	1
	世界の資源・エネルギーと産業	資源・エネルギー問題	太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利用	161	1
	日本の資源・エネルギーと環境問題	資源・エネルギー問題	日本の資源自給率	162	1
	日本の資源・エネルギーと環境問題	資源・エネルギー問題	リサイクルの取り組み	163	1
	日本の農林水産業	食糧問題	日本の食料自給率の低下	164-165	2
	さまざまな発電方法の特徴と課題	資源・エネルギー問題	これまでの主な発電方法の特徴	170	1
	さまざまな発電方法の特徴と課題	資源・エネルギー問題	新しい発電方法の特徴	171	1
	多様な環境問題と環境保全の取り組み	環境問題	環境保全の取り組み	184-185	2
	工業化・都市化にともなう地域への影響	環境問題	工業化がもたらした環境問題	186	1
	工業化・都市化にともなう地域への影響	環境問題	黄砂現象	187	1
	持続可能な社会を創る	環境問題	エコタウンの形成	188	1
	屋久島の自然と人々の生活	環境問題	屋久島のエコツーリズム	190	1
中国・四国地方の人々の営み	環境問題	世界の砂漠化防止	195	1	
高齢化が進む農村と町おこし	人口減少問題	山間地域と離島での過疎化	198	1	
本州四国連絡橋と地域の結び付き	環境問題	環境問題を考える資料館	202	1	
琵琶湖と環境保全の歩み	環境問題	琵琶湖の環境保全の取り組み	214	1	
中部地方の人々の営み	人口減少問題	山間部での過疎地域	218	1	
工業の発展と地域の変化	環境問題	原子力発電所のある地域	221	1	
各地との結び付きで成り立つ産業と生活	資源・エネルギー問題	毎日の生活のための協力	235	1	
人口集中の課題と対策	環境問題	資源物回収	238	1	
東北地方の生活の舞台	国際協力	米軍による東日本大震災に対する救援活動	241	1	
東北地方の人々の営み	人口減少問題	過疎化	242	1	
教 出	国名や国旗から世界をみると…	国際紛争	国境線をめぐった紛争	17	1
	赤道に沿った暑い世界	環境問題	油やしの栽培や森林の伐採	27	1
	アジアをながめて	国際紛争	朝鮮半島を植民地	43	1

者	教科書の構成	項目	タイトル・主な内容	ページ	ページ
教 出	「世界の工場」の出現	環境問題	深刻化する環境問題	47	1
	工業化と大都市の成長	人口減少問題 国際紛争	過疎化と高齢化の問題 分断された朝鮮半島	49	1
	変わる産業と貿易	環境問題	環境破壊から森林を守る	50	1
	宗教をめぐる共存と対立	国際紛争	パレスチナ問題	57	1
	アフリカの歩みと多様な民族	国際協力 国際紛争	さまざまな援助の活動 国外へ避難する難民	61	1
	変わる人々の暮らし	人権問題	アパルトヘイト（人種隔離）	65	1
	甘いチョコレートの苦い現実	人権問題	教育を受ける権利	67	1
	ヨーロッパ連合への道のり	国際紛争	二度の世界大戦	70	1
	国境を越える工業生産	人権問題	トルコ人に対する差別	75	1
	市民が取り組む環境対策	環境問題	表面が変色した石像	76	1
	市民が取り組む環境対策	環境問題	地球温暖化	77	1
	新しい国のかたちをみざして	国際紛争	銃を構えるロシア軍兵士	79	1
	原子力発電と環境問題	環境問題 資源・エネルギー問題	ヨーロッパ各国の原子力発電	81	1
	多民族の共存と貧困	人権問題	奴隷制の廃止	90	1
	多民族の共存と貧困	人権問題	災害と人種差別	91	1
	世界に展開する軍事力	国際紛争 環境問題	同時多発テロの発生 基地の騒音、環境汚染などの問題	93	1
	南アメリカの農業と開発	環境問題	アマゾン川流域の開発と環境	96-97	2
	南アメリカの都市が抱える環境問題	環境問題	都市で広がる新しい農業	99	1
	多文化主義の社会をみざして	人権問題	白豪主義の政策	107	1
	アジアとつながるオセアニア	環境問題 国際紛争	リゾート開発による環境破壊 第二次世界大戦での日本軍の爆撃	109	1
	変わる「楽園」の暮らし	環境問題	森林の伐採	111	1
	地域の多様なすがたを調べよう	人権問題	カーストによる差別	115	1
	世界の人口分布と変化	人口減少問題	少子高齢化	151	1
	日本の人口分布と課題	人口減少問題	過密と過疎の問題	152	1
	日本の人口分布と課題	人口減少問題	高齢化と少子化	153	1
	資源・エネルギーのかたよる分布	資源・エネルギー問題	エネルギー消費と人口の州別割合	154	1
	資源・エネルギーのかたよる分布	資源・エネルギー問題	発電方式の特徴	155	1
	さんご礁の海を守る	国際紛争	住民を巻き込んだ激しい地上戦	164	1
	さんご礁の海を守る	環境問題	さんごの移植作業	165	1
	煤煙の街からエコタウンへ	環境問題	大気汚染と洞海湾の水質の悪化	170	1
	公害を乗り越えて	環境問題	八代海の汚染	172-173	2
	人口分布のかたよる地域	人口減少問題	人口の過疎化	174	1
人口減少と地域の悩み	人口減少問題	過疎化の進行	178	1	
荒廃の進む日本の山村	人口減少問題	広がる過疎地域	184	1	
荒廃の進む日本の山村	人口減少問題	過疎地の活性化	185	1	
琵琶湖の水の利用と環境	環境問題	琵琶湖の環境の変化	196	1	
琵琶湖の水の利用と環境	環境問題	生態系も危ない	197	1	
自然環境を生かした産業	環境問題	観光開発による環境破壊	207	1	
日本の食料基地として	環境問題	絶滅の危機にある生物に指定	243	1	
豊かな自然を生かした観光	環境問題	湿地を保全するエコツアー	247	1	
帝 国	経済発展を急速にとげた中国	環境問題	大気汚染や水質汚濁などの環境問題	41	1
	ヨーロッパ統合と人々の生活の変化	人口減少問題	少子高齢社会の問題に直面するデンマーク	57	1
	アフリカの文化と歴史	国際紛争 人権問題	異なる民族間での争い アパルトヘイト（人種隔離政策）	69	1
	自立をめざすアフリカの国々	国際協力	日本の開発援助	72	1
	大規模な農業と多様な農産物	食料問題	穀物メジャー	81	1
	世界に広がるアメリカ合衆国の影響	資源・エネルギー問題	大量生産・大量消費	84	1
	地球温暖化の影響と対策	環境問題	地球温暖化対策のための国際会議	86	1

者	教科書の構成	項目	タイトル・主な内容	ページ	ページ	
帝国	ブラジルにみる環境問題	環境問題	アマゾン川流域の開発地域	96-97	2	
	産業の発展と開発にともなう問題	環境問題	ごみの増加などによる環境問題	98	1	
	オセアニア州の自然環境	環境問題	地球温暖化などによる海面の上昇	102	1	
	海外と結びついたオセアニアの産業	国際協力	日本などの外国企業の協力による開発	107	1	
	南北に分断された韓国・北朝鮮	国際紛争	両国が対立する状態	115	1	
	世界の人口の分布と変化	人口減少問題	つぼ型人口ピラミッド	151	1	
	日本の人口の変化と特色	人口減少問題	少子高齢社会	152	1	
	日本の人口の変化と特色	人口減少問題	地域社会を支える活動が困難になる過疎	153	1	
	世界の資源・エネルギー	資源・エネルギー問題	世界の鉱産資源の生産とエネルギー消費	154-155	2	
	日本の資源・エネルギーと電力	資源・エネルギー問題	生活を支える電力	156	1	
	日本の資源・エネルギーと電力	資源・エネルギー問題	エネルギー資源の自給率が低い日本	157	1	
	日本の農業・林業・漁業とその変化	食糧問題	低い日本の食料自給率	159	1	
	自然とともにある九州の人々の生活	環境問題	自然保護と観光業の両立をめざす屋久島	173	1	
	都市や工業の発展と自然環境	環境問題	公害のまちから生まれ変わった水俣市	177	1	
	公害の経験を生かした環境保全への取り組み	環境問題	環境保全の活動や考え方	180	1	
	観光客を呼び寄せる取り組み	人口減少問題	人口減少や高齢化	192	1	
	観光客を呼び寄せる取り組み	環境問題	砂丘地の技術を世界へ	193	1	
	過疎地域への地域おこしの取り組み	人口減少問題	おもな都市と過疎地域の分布	194	1	
	琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏	環境問題	琵琶湖の水質改善	200-201	2	
	環境に配慮した林業・漁業と保全活動	環境問題	地球温暖化を防ぐ役割	206	1	
	環境に配慮した林業・漁業と保全活動	環境問題	水産資源保護への取り組み	207	1	
	輸送機械工業が盛んな東海	環境問題	公害の教訓を伝える三重県四日市市	215	1	
	大都市周辺の農業と山間部の過疎問題	人口減少問題 環境問題	山間部の役割と地域の再生 尾瀬の豊かな自然を守る取り組み	237	1	
	発展する工業と生活の変化	資源・エネルギー問題	工業の発展と環境へ配慮したエネルギーの活用	251	1	
	歴史や北国の自然を生かした観光業	環境問題	エコツーリズム	263	1	
	日文	乾燥地域に生きる人々	環境問題	黄砂などが国境をこえる環境問題	17	1
		アジア州の自然環境	環境問題	環境保全のための入場者数の制限や自動車の乗り入れ禁止	33	1
アジア州の人口、文化、産業		環境問題	世界の人口の6割が集中するアジア州	34	1	
経済成長によって変化する中国		環境問題	経済成長を続ける中国の課題	37	1	
鉱産資源による経済成長		国際紛争	宗教・宗派や民族のちがいを背景とした紛争	43	1	
持続可能な社会をめざすヨーロッパ州の人々		環境問題	酸性雨の被害	54	1	
持続可能な社会をめざすヨーロッパ州の人々		環境問題	環境に優しい発電をめざして	55	1	
地球温暖化を防ぐために		環境問題	発展途上国の環境問題の改善や温室効果ガス削減	56	1	
アフリカ州の自然環境		環境問題	サヘル砂漠化	59	1	
アフリカ州の歴史、文化、産業		国際紛争	民族対立	60	1	
アフリカ州の歴史、文化、産業		人権問題	アパルトヘイトとよばれる人種隔離政策	61	1	
都市化による変化と残された課題		国際協力	さまざまな支援や協力	65	1	
武器を芸術作品に変える取り組み		国際紛争	ポルトガルの植民地だったモザンビークでは、(略)	66	1	
北アメリカ州の歴史、民族、産業		人権問題	差別や格差の解消	71	1	
世界の食料庫、北アメリカ州		食糧問題	食料不足の国への食料援助	72-73	2	
南アメリカ州の民族、文化、産業		環境問題	熱帯雨林の破壊	83	1	
熱帯雨林の開発による環境問題		環境問題	開発によって失われる熱帯雨林	84	1	
熱帯雨林の開発による環境問題		環境問題	バイオ燃料の生産技術の開発	85	1	
人々の動きからみた環境問題		環境問題	都市化による環境問題	86	1	
人々の動きからみた環境問題		環境問題	環境保全と観光の両立	87	1	
変化する先住民族と移民の社会		人権問題	先住民族アボリジニとの共生	95	1	
強まるアジア州との結びつき		環境問題	地球温暖化などによる海面上昇	97	1	
北極地方と南極地方		環境問題	オゾンホール	99	1	
世界と日本の気象災害	環境問題	ヒートアイランド現象とゲリラ豪雨	143	1		

者	教科書の構成	項目	タイトル・主な内容	ページ	ページ
日 文	東日本大震災からの復興をめざして	国際協力	アメリカ軍の「トモダチ作戦」	146	1
	日本の人口の分布と変化	人口減少問題	農村部の過疎化	152	1
	日本の人口の分布と変化	人口減少問題	少子高齢化	153	1
	世界と日本の資源・エネルギー	資源・エネルギー問題	主な鉱産資源の分布と日本の輸入	154	1
	世界と日本の資源・エネルギー	資源・エネルギー問題	日本のエネルギー消費と再生可能エネルギー	155	1
	原子力発電所の事故と再生可能エネルギー	資源・エネルギー問題	震災後に発生した電力危機	156	1
	原子力発電所の事故と再生可能エネルギー	資源・エネルギー問題	日本の発電方法別の発電量	157	1
	世界と日本の第1次産業	食糧問題	食料自給率は、わずか3.9%です。	159	1
	九州地方の人口や産業	環境問題 資源・エネルギー問題	環境産業の発展	173	1
	日本を支えた鉱工業と環境問題	環境問題	北九州市の発展と公害	174	1
	日本を支えた鉱工業と環境問題	環境問題	黄砂と大気汚染	175	1
	環境保全に取り組む農業・漁業	食糧問題	食の安全を求める消費者にこたえ(略)	176	1
	環境保全に取り組む農業・漁業	環境問題	農業と環境保全	177	1
	環境保全のためのさまざまな取り組み	環境問題	開発による環境破壊の問題もあり、(略)	178	1
	環境保全のためのさまざまな取り組み	環境問題	さんご礁への被害	179	1
	日本の環境首都をめざして	環境問題	エコタウン・環境モデル都市の分布	180	1
	過疎化の進む地域の努力	人口減少問題	少子高齢化と限界集落	188	1
	過疎化の進む地域の努力	人口減少問題	過疎地域の活性化をめざして	189	1
	地域活性化の取り組みをみる	人口減少問題	鳥取県日南市の取り組み	192	1
	近畿地方の産業と歴史	環境問題	琵琶湖の環境保全	203	1
	交通網の整備と中央高地の産業	環境問題	開発や観光客の増加による環境問題	213	1
	自然環境からみた北陸の産業の特色	資源・エネルギー問題	中部地方の原子力発電所の分布	215	1
	関東地方の自然環境	環境問題	小笠原諸島の環境保全	219	1
	東京大都市圏の人々の結びつき	環境問題	(略)関東地方の他県や他地方まで「越境」させてゴミを処理する(略)	225	1
	東北地方の人口、産業と震災の影響	人口減少問題	少子高齢化にともなう人口減少	232	1
	東北地方の生活・文化と他地域の結びつき	資源・エネルギー問題	原子力発電所の事故による深刻な影響	238-239	2
	自然を生かした特色のある産業	食糧問題	食の安全に対応する農林水産業の取り組み	249	1
自然環境を守りながら地域を活性化する取り組み	環境問題	釧路湿原をカヌーで下るエコツーリズム	250	1	
自然環境を守りながら地域を活性化する取り組み	環境問題	自然環境との共生をはかる知床半島	251	1	

別記

様式4の調査項目⑨「北海道とかかわりのある事象」の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	ア イ ヌ	北海道地方の人々の営み(255)	写真	アットゥシ
			本文	「北海道は、もともと先住民族であるアイヌの人たちが住んでいた土地です。(略)」
		アイヌの人たちと多文化共生(262)	写真	アイヌ古式舞踊
			地図	アイヌ語が由来となったとされる地名
			本文	「アイヌの人たちは、北海道とその周辺地域で古くから生活をしてきた先住民族です。(略)」
道 内 の 市 町 村 等		世界に見られるさまざまな気候と広がり(36)	コラム	冷帯（亜寒帯）
		日本の領域の特色を見てみよう(132)	地図	日本の領域と排他的経済水域
			写真	散布山（北端 択捉島）
		日本の領域の特色を見てみよう(133)	本文	「北海道の東にある北方領土は、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島から成り立っています。(略)」
			地図	日本の領土返還の歴史と北方領土
		日本列島を構成する島々(134)	地図	日本の領域と排他的経済水域
		日本列島を構成する島々(135)	本文	「北方領土は、地勢的には北海道の東方からカムチャッカ半島まで連なる島々の南部に位置しています。(略)」
			写真	択捉島の散布山
			地図	北方領土周辺の地形
			地図	20万分の1地勢図
		いろいろな見方で都道府県を探ろう(136)	コラム	「中心地や都といった」意味がある『府』は、かつて政治や経済の中心地だった京都と大阪に付けられています。(略)」
		世界から見た日本の姿(141)	写真	石狩平野を流れる石狩川（北海道浦臼町）
		世界から見た日本の気候(151)	グラフ	各地の気温と降水量
		日本の人口と過疎・過密問題(158)	本文	「都道府県別の人口を見ると、東京、神奈川、大阪、愛知などの都府県への集中が著しく、人口分布のかたよりが大きくなっています。(略)」
		日本各地を結ぶ交通・通信(175)	地図	北海道の交通網の変化
		北海道地方(251)	写真	十勝平野
			写真	石狩平野
			写真	さんまの水あげ
			写真	風力発電施設
			写真	富良野のラベンダー畑
		北海道地方の生活の舞台(252)	地図	北海道地方の自然環境
			グラフ	各地の気温と降水量
			写真	太平洋沿岸の濃霧（根室市）
			地図	霧を発生させる海流と夏の季節風
			グラフ	民有地（用途別）面積の都道府県別の割合
		北海道地方の生活の舞台(253)	地図	日本の最深積雪量
			グラフ	各地の年降雪日数
			写真	オホーツク海の流氷観光
			写真	旭山動物園
			グラフ	主な都市の月別日照時間
			コラム	克雪、利雪、楽雪
			写真	米の貯蔵施設
		北海道地方の人々の営み(254)	地図	北海道地方の人口
			写真	札幌市の市街地

		グラフ	北海道における札幌市への集中
		写真	石炭の採掘（夕張市 1987年）
	北海道地方の人々の営み(255)	地図	北海道地方の産業
	自然の制約に適応する人々の工夫(256)	写真	北海道に見られる標識（中標津町 2012年）
		写真	落雪を防ぐ工夫がされた住宅の屋根（札幌市）
		写真	住宅に見られる工夫（幕別町 2012年）
		写真	噴煙をあげる有珠山と洞爺湖温泉（2000年）
	自然の制約に適応する人々の工夫(257)	写真	洞爺湖有珠山ジオパーク
		写真	にしん漁でにぎわう江差の港
		グラフ	北海道の漁獲量の変化
		写真	ほたての稚貝の放流
		コラム	植林による漁業の活性化
		写真	木を植える人たち（えりも町 2012年）
	自然の制約や社会の変化を乗り越える(258)	写真	根釧台地の酪農（中標津町 2009年）
		地図	稲作の北限の変化
		グラフ	農家1戸あたりの耕地面積
		グラフ	主な農産物の生産量に占める北海道の割合
	自然の特色を生かした観光産業(259)	写真	大型機械を使った収穫
		グラフ	乳牛の県別飼育頭数の割合と加工用に出荷される生乳の割合
		コラム	北海道産のお菓子を全国へ
	自然の特色を生かした観光産業(260)	写真	新千歳空港（千歳市・苫小牧市 2011年）
		写真	さっぽろ雪まつり（札幌市 2013年）
		グラフ	北海道への月別観光客数と外国人宿泊者の国・地域別内訳
		写真	知床の高架木道（斜里町 2010年）
	アイヌの人たちと多文化共生(262)	本文	「アイヌの人たちは、北海道とその周辺地域で古くから生活をしてきた先住民族です。（略）」（再掲）
		地図	アイヌ語が由来となったとされる地名（再掲）
教 出 アイ ヌ	さまざまな言語と人々の暮らし(36)	本文	「言語や宗教、生活上の習慣などの文化を共有し、同じ集団に属しているという意識をもつ人々の集まりを民族とよびます。（略）」
	現代に生きる地域文化(229)	地図	ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布
	自然改変の歴史をもつ地域(238)	地図	アイヌ語に由来する主な地名
	自然改変の歴史をもつ地域(239)	本文	「江戸時代まで北海道は蝦夷地とよばれていました。（略）」
	「とる漁業」から「育てる漁業」へ(245)	本文	「さけ、ますは、かつて北海道の多くの川にたくさん上り、アイヌ民族にとっても重要な資源でした。（略）」
	アイヌの人たちの文化にまなぶ(248)	コラム	知里幸恵『アイヌ神謡集』序文より
		写真	刺繍作品「フレベンナ＝虹の歌」（2002年）
		写真	チカップ美恵子さん（1948－2010）
		図版	アイヌ文様のパターン（チカップさんによる）
		本文	「北海道などには、独自の言語や民族文化をもつ先住民族のアイヌの人たちが暮らしています。（略）」
アイヌの人たちの文化にまなぶ(249)	写真	アイヌ音楽のコンサート（北海道芽室町）	
	写真	ムックリ（口琴）やウボボ（歌）を奏でる（北海道帯広市）	
	写真	アイヌ語地名を平等に表記した看板（北海道旭川市）	
	地図	「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布	
道 内 の 市	宇宙からとらえた日本列島(123)	写真	陸続きになった島 函館山（北海道）
		写真	日本最大の湿原 釧路湿原（北海道鶴居村）
	地図を活用しよう④(124)	地図	日本にはどんな世界遺産があるのだろう（知床）
日本の国土の広がり(128)	写真	D. 択捉島（2012年）	

町 村 等	日本の領土をめぐって(130)	地図	北方領土とその周辺
		写真	日本とロシアの中学生による意見交換会(2012年 色丹島)
		年表	北方領土問題に関する主なできごと
		本文	「上の図2をみてみましょう。(略)」
	さまざまな地域区分(135)	本文	「札幌・東京・名古屋・大阪・福岡などの大都市には、仕事や買い物などをするために、多くの人が周辺の地域から集まります。(略)」
	変動する大地と安定した大地(138)	写真	噴煙を上げる有珠山(2000年 北海道洞爺湖町)
	変化に富む日本列島の地形(141)	本文	「日本の川は、世界の川と比べると短く、急流となっています。(略)」
		本文	「日本は海洋に囲まれ、多くの島々から成り立っているため、長い海岸線をもっています。(略)」
	四季のある気候(144)	本文	「日本の大部分は温帯に属していますが、南西諸島は熱帯に近く、北海道は冷帯になります。(略)」
	四季のある気候(145)	グラフ	日本各地の気温と降水量(根室)
		本文	「台風は、フィリピン周辺の熱帯で発生する低気圧が発達したものです。(略)」
	日本の人口分布と課題(152)	地図	日本の人口密度の分布(札幌市)
		本文	「日本では、総人口の半数近くが東京、大阪、名古屋の三大都市圏に分布するという、人口の著しいかたよりがみられます。(略)」
	煤煙の街からエコタウンへ(171)	地図	エコタウン事業が進められる地域(北海道札幌市)
	阪神工業地帯の発展と課題(193)	地図	日本の主な製鉄工場の分布の移り変わり(室蘭)
	先進的な第一次産業(205)	地図	日本の主な漁港と水揚げ量(釧路、根室、羅臼、網走、常呂、紋別、枝幸、稚内、小樽、森、砂原)
	雪に育まれた伝統産業(209)	地図	日本の主な地場産業の分布(家具・旭川、合板・清里)
	日本の諸地域(225)	写真	知床半島に接岸した流氷(北海道斜里町)
	現代に生きる地域文化(229)	地図	ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布(再掲)
	自然改変の歴史をもつ地域(238)	地図	北海道の土地利用の変化
地図		アイヌ語に由来する主な地名(再掲)	
自然改変の歴史をもつ地域(239)	地図	北海道地方の地勢	
	写真	区画された街並み(北海道札幌市)	
	本文	「江戸時代まで北海道は蝦夷地とよばれていました。(略)」(再掲)	
厳しく長い冬の暮らし(240)	写真	太陽光発電を導入した小学校(北海道北見市)	
	地図	北海道にみる再生可能なエネルギーの利用の例	
	写真	海岸沿いに建ち並ぶ風力発電機(北海道苫前町)	
	囲み	「北海道の日本海側では、年間を通じて強風が吹きつけています。(略)」	
厳しく長い冬の暮らし(241)	地図	北海道の日照時間の分布	
	写真	海霧(北海道羅臼町)	
	写真	流氷観光を楽しむ観光客(2007年3月北海道斜里町)	
	グラフ	北海道各地の気温と降水量	
	写真	「谷地坊主」(北海道足寄町)	
日本の食料基地として(242)	写真	石狩平野に広がる水田(北海道浦臼町)	
	写真	羊蹄山のふもとに広がるじゃがいも畑(北海道京極町)	
	グラフ	耕地面積からみた、日本・各都府県と北海道との比較	
	囲み	「北海道の米作りは、石狩平野・上川盆地が中心で、気候のより厳しい道東地域では畑作や酪農が盛んです。(略)」	
	写真	根釧台地の酪農(北海道標津町)	

	日本の食料基地として(243)	グラフ	北海道各地の気温と降水量
		グラフ	主な農産物の生産量に占める北海道の割合
		図版	十勝川流域にみる湿原の分布の移り変わり
		コラム	シマフクロウ
	「とる漁業」から「育てる漁業」へ(244)	写真	川を上るさけをとるヒグマ(北海道知床半島)
		写真	さけの水揚げ(北海道広尾町)
		写真	さけの採卵作業(北海道別海町)
		写真	ほたての水揚げ(北海道猿払村)
		囲み	「さけ、まずは秋になると川を上って産卵し、一生を終えます。(略)」
		囲み	北洋漁業
	「とる漁業」から「育てる漁業」へ(245)	グラフ	北海道の海面漁業生産の変化
		グラフ	北海道の市町村別漁業生産量と魚種別生産量
		写真	スリットを入れた砂防ダム(北海道帯広市)
		コラム	かつてのにしん漁のにぎわい
		写真	「にしん御殿」の天井(北海道小樽市)
		本文	「さけ、まずは、かつて北海道の多くの川にたくさん上り、アイヌ民族にとっても重要な資源でした。(略)」(再掲)
	豊かな自然を生かした観光(246)	写真	冬の「さっぽろ雪まつり」を楽しむ観光客(北海道札幌市)
		写真	初夏の「YOSAKOIソーラン祭り」の様子(北海道札幌市)
		グラフ	北海道の外国人観光客の国・地域別割合
		囲み	「北海道を訪れる観光客のおよそ17%は外国人(2013年度)で、特に中国、韓国、台湾、オーストラリア、タイなどからのツアー客が多くなっています。(略)」
		写真	有珠山の火山噴火による災害遺構(2003年 北海道洞爺湖町)
		写真	有珠山のハザードマップ
	豊かな自然を生かした観光(247)	グラフ	北海道内の月別観光客数
		写真	農業を体験するツアーで乳搾りをする人々(北海道鹿追町)
		写真	知床五湖の高架木道(北海道斜里町)
		地図	日本のラムサール条約登録湿地
	アイヌの人たちの文化に学ぶ(248-249)	本文	「北海道などには、独自の言語や民族文化をもつ先住民族のアイヌの人たちが暮らしています。(略)」(再掲)
写真		アイヌ音楽のコンサート(北海道芽室町)(再掲)	
写真		ムックリ(口琴)やウボボ(歌)を奏でる(北海道帯広市)(再掲)	
写真		アイヌ語地名を平等に表記した看板(北海道旭川市)(再掲)	
地図		「ベツ」「ナイ」「川」の意味がつく地名の分布(再掲)	
帝国 アイヌ 道 内 の 市 町 村	厳しい自然環境を克服した稲作の歴史(258)	本文	「現在の石狩平野は、全国有数の米の生産地になっています。(略)」
		写真	伝統的なアイヌ文様の刺繍がほどこされた衣服の生地(平取町)
	厳しい自然環境を克服した稲作の歴史(259)	地図	アイヌ語に起源をもつ北海道の地名
		コラム	(略) 函館港や新潟港などを通じてロシアから輸入しています。
	日本の領域と領土問題(124)	写真	日本の北端[択捉島](北海道)
		地図	日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲
	日本の領域と領土問題(126)	写真	北海道から見える北方領土の島々(北海道根室市)
		地図	北方領土周辺の国境の移り変わり
		写真	かつて島に住んでいた日本人の墓に手を合わせるピ

等			ザなし交流訪問団の人々（国後島）
	写真		ビザなし交流でロシアから日本に来た中高生たち（北海道根室市）
	本文		「北海道の北東にある国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島は、日本固有の領土で、北方領土とよばれています。（略）」
都道府県と県庁所在地(128)	本文		「日本には現在、地方の政治を行うための基本単位である地方公共団体として、都道府県が47あります。（略）」
日本の気候(142)	写真		北海道の小学校で雪遊びをする子どもたち（北海道札幌市）
	本文		「日本の気候は、世界の五つの気候帯にあてはめると、本州・九州・四国がおもに温帯、北海道が亜寒帯（冷帯）に属し、四季の変化がはっきりしていることが特色です。（略）」
日本の気候(143)	グラフ・地図		日本の気候区分と各地の雨温図（千歳）
	本文		「日本の気候は、気温・降水量とその月別の変化をもとにして、六つの気候区に分けることができます。（略）」
日本の人口の変化と特色(153)	本文		「日本では、人口の大部分は平野や盆地に分布し、なかでも都市部に集中しています。（略）」
日本の農業・林業・漁業とその変化(158)	本文		「日本の耕地の半分以上は水田で、水の豊かな平野を中心に全国各地に分布しています。（略）」
日本の商業・サービス業(162)	本文		「産業は一般的に、農業・林業・漁業などの第1次産業、鉱工業・建設業などの第2次産業、そしてこれらにふくまれない第3次産業に分類されます。（略）」
交通網の整備による地域の変化(222)	本文		「日本の各地では、九州新幹線や北海道新幹線など、人々の生活をより便利にするための新しい交通網の整備が進められています。（略）」
北海道地方(254)	写真		開拓によって整備されたまっすぐのびる道路と広大な十勝平野の畑（土幌町）
	写真		北海道を代表する冬のイベント「さっぽろ雪まつり」（札幌市）
	写真		「赤れんが庁舎」で知られる北海道庁旧本庁舎（札幌市）
北海道地方(255)	写真		こんぶ干しのようす（利尻富士町）
	写真		オホーツク海をおおう流氷の中を進む観光船（網走市沖）
	写真		大規模な酪農（中標津町）
北海道地方の自然環境(256)	地図		北海道地方の自然
	写真		有珠山の火口と火山の噴火でできた洞爺湖
	グラフ		日本の面積・人口にしめる北海道地方の割合
	地図		北海道の気候
北海道地方の自然環境(257)	写真		北海道の気候に合うように工夫された住宅（旭川市）
	写真		満開の桜と水田（東川町）
	写真		道路沿いの防雪柵と路肩を示す標識（弟子屈町）
	コラム		冬の交通の安全を確保する取り組み
	グラフ		北海道地方のおもな都市の雨温図
厳しい自然環境を克服した稲作の歴史(258)	写真		大正時代の泥炭地の開発のようす（石狩平野）
	写真		広大な水田地帯が広がる現在の石狩平野（美唄市）
	図版		石狩平野の土地改良
	地図		北海道の土地利用
	本文		「現在の石狩平野は、全国有数の米の生産地になっています。（略）」（再掲）

	厳しい自然環境を克服した稲作の歴史 (259)	写真	東京のデパートで売られる北海道産の米	
		グラフ	北海道の農地面積の変化	
		写真	伝統的なアイヌ文様の刺繍がほどこされた衣服の生地 (平取町) (再掲)	
		地図	アイヌ語に起源をもつ北海道の地名 (再掲)	
	大規模化してきた畑作や酪農、漁業(260)	写真	じゃがいもの収穫 (北見市)	
		写真	北海道産のじゃがいもを使った菓子	
		グラフ	おもな農産物の全国生産に占める北海道の割合	
		図版	農家1戸あたりの耕地面積	
		グラフ	酪農家1戸あたりの乳牛飼育頭数の比較	
	大規模化してきた畑作や酪農、漁業 (261)	写真	機械化された酪農 (別海町)	
		写真	ほたての加工場のようす (雄武町)	
		コラム	食品メーカーで働く人の話	
		写真	多くの買い物客でにぎわうデパートの北海道物産展 (大阪府)	
		グラフ	おもな水産物の漁獲量	
	歴史や北国の自然を生かした観光業 (262)	写真	歴史的な建物や運河のある町なみ (小樽市)	
		写真	碁盤の目のような街路が広がる札幌市の中心部	
		グラフ	北海道と札幌市の人口の変化	
	歴史や北国の自然を生かした観光業 (263)	コラム	北海道の気候を生かした観光地の取り組み	
		写真	旭山動物園で見られるペンギンの散歩 (旭川市)	
		写真	外国人観光客と英語で書かれた看板 (倶知安町)	
グラフ		北海道を訪れる外国人観光客数の推移		
日文	アイヌ	北海道地方の歴史、人口、産業(244)	本文	「江戸時代までの北海道は、蝦夷地とよばれ、渡島半島の南部を除く大部分がアイヌ民族の生活する土地でした。(略)」
		自然環境を生かした人々の生活(247)	地図	アイヌ語に由来する主な地名
	写真		アイヌ民族の工芸品の展覧会 (北海道苫小牧市)	
	本文	「アイヌ民族は、森林・原野の動植物やさけ・ますなどの自然のめぐみを食料にして生活し、すべてのものにカムイ(神)が宿るとして敬ってきました。(略)」		
自然環境を守りながら地域を活性化する 取り組み(251)	本文	「北海道では、エコツーリズムやグリーンツーリズムに加えて、閉山になった炭鉱やにしん漁の番屋などの近代化遺産、アイヌ民族の文化を知るための施設などにも、多くの人々がおとずれています。(略)」		
道 内 の 市 町 村 等	私たちが生活する日本の領域をとらえる (116)	写真	国土の北端 択捉島	
		日本の領域をめぐる問題をつかむ(118)	地図	北方領土
	日本の領域をめぐる問題をつかむ(119)	地図	北方領土付近の国境の変化	
		本文	「北方領土は、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島からなる日本固有の領土です。(略)」	
		写真	羅臼町から見た国後島	
		写真	「ビザなし交流」で国後島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団	
	本文	「1951年のサンフランシスコ平和条約でも、北方領土と竹島が日本固有の領土であることが確認されています。(略)」		
	日本の都道府県と7地方区分をとらえる(122)	地図	日本の都道府県と7地方区分	
日本の都道府県と7地方区分をとらえる(123)	コラム	県の変化や県名の由来をみる		
日本のさまざまな地域区分をとらえる	地図	日本の略地図のかき方		

(125)		
日本の地形(135)	本文	「日本の河川は短くて急流で、流域面積がせまくなっています。(略)」
世界の気候(137)	本文	「このような気温と降水量のちがいがから、世界の気候は、大きく六つの気候帯に分けられます。(略)」
日本の気候(139)	グラフ	日本の気候区分
	本文	「夏の始まりには、ユーラシア大陸と太平洋の高気圧がぶつかり合います。(略)」
世界と日本の気象災害(142-143)	本文	「風水害のほかにも、日本ではさまざまな気象災害が発生しています。(略)」
日本の人口の分布と変化(152)	本文	「日本の1㎥あたりの人口密度は約337人で、世界的にみても高くなっています。(略)」
	地図	日本の人口密度と主な都市の分布
世界と日本の第1次産業(158)	本文	「日本では、稲作が全国的に行われています。(略)」
世界と日本の第3次産業(163)	本文	「サービス業には、さまざまな業種があります。(略)」
日本の結びつき(166)	地図	高速交通網の整備
日本の諸地域(169)	写真	北海道地方・流氷と観光船(北海道)
環境保全に取り組む農業・漁業(176)	本文	「九州南部では、畜産業が盛んです。(略)」
近畿地方の自然環境(195)	コラム	台風による風水害
北海道地方の自然環境(242)	地図	北海道地方の地形
	写真	流氷(北海道紋別市)
	写真	石狩平野と三日月湖(北海道浦臼町)
	写真	石狩山地の大雪山(北海道東川町)
北海道地方の自然環境(243)	グラフ	北海道地方各地の雨温図
	グラフ	全国と北海道の海岸線の割合
	コラム	真冬日・真夏日
北海道地方の歴史、人口、産業(244)	地図	北海道地方の人口密度
	地図	北海道地方の土地利用と農業・漁業
	グラフ	北海道と札幌市の人口
	本文	「江戸時代までの北海道は、蝦夷地とよばれ、渡島半島の南部を除く大部分がアイヌ民族の生活する土地でした。(略)」(再掲)
北海道地方の歴史、人口、産業(245)	地図	北海道地方の工業
	地図	都市部と農村部の地形図
	グラフ	県別の漁獲量
	コラム	北海道の遠洋漁業
自然環境を生かした人々の生活(246)	写真	住宅の屋根(北海道旭川市、札幌市)
	写真	住宅の玄関(札幌市)
	写真	信号機(札幌市中央区)
	写真	冬の道路(北海道真狩村)
	写真	ロードヒーティングをしている歩道(札幌市)
自然環境を生かした人々の生活(247)	写真	しばれフェスティバル(北海道陸別町)
	コラム	雪とともに生きる
	地図	アイヌ語に由来する主な地名(再掲)
	写真	アイヌ民族の工芸品の展覧会(北海道苫小牧市)(再掲)
自然環境を生かした特色のある産業	本文	「アイヌ民族は、森林・原野の動植物やさけ・ますなどの自然のめぐみを食料にして生活し、すべてのものにカムイ(神)が宿るとして敬ってきました。(略)」(再掲)
	写真	上川盆地に広がる水田(北海道東川町)

(248)	写真	米の品種改良に取り組む農業試験場（北海道比布町）
	写真	十勝平野の広大な畑（北海道士幌町）
	写真	たまねぎの収穫（北海道富良野市）
	グラフ	小麦・じゃがいも・たまねぎ・牛乳の県別生産量
	グラフ	販売農家の耕地規模のちがひ
自然環境を生かした特色のある産業 (249)	写真	根釧台地の酪農（北海道中標津町）
	写真	乳牛の飼育（北海道別海町）
	写真	ほたて貝の水あげ（北海道北見市）
	写真	ほたて貝の稚貝の放流
	コラム	サロマ湖の養殖漁業
自然環境を守りながら地域を活性化する 取り組み(250)	写真	摩周湖（北海道弟子屈町）
	写真	釧路湿原をカヌーで下るエコツーリズム（北海道釧路町）
	写真	知床国立公園の羅臼ビジターセンター（北海道羅臼町）
	地図	北海道の国立公園・国定公園の分布
	写真	美瑛町の花畑
自然環境を守りながら地域を活性化する 取り組み(251)	写真	知床半島（北海道羅臼町・斜里町）
	写真	自然環境に配慮して高架でつくられた遊歩道（北海道斜里町）
	コラム	自然環境との共生をはかる知床半島
	コラム	霧多布湿原とともに生きる
	本文	「北海道では、エコツーリズムやグリーンツーリズムに加えて、閉山になった炭鉱やにしん漁の番屋などの近代化遺産、アイヌ民族の文化を知るための施設などにも、多くの人々がおとずれています。（略）」 （再掲）
火山と地域との共生(252)	図版	洞爺湖・有珠山周辺の地形
	写真	有珠山の噴火（北海道洞爺湖町）
	資料	有珠山火山防災マップ

※事項欄の「アイヌ」はアイヌの人たちの歴史・文化等に関する記述、「道内の市町村等」は道内の市町村等に関する記述を表している。